

細川元首相夫人が名誉会長を務める 知的障害者のスポーツ団体を支援

認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」に浄財266万円



細川護照元首相夫人で現在認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」の名誉会長を務める細川佳代子氏（左）に浄財を手渡し、握手する同社の萩原明会長（右）



オークションには、国際的なJAZZトランペッター日野皓正氏（左）のトランペットが出品されたうえ、生演奏も。隣は司会進行役を務めた小野やすし氏



会場には、業界関係者をはじめ、芸能スポーツ関係者ら総勢115人が集まり、盛り上がりを見せていた

遊技機販売商社のセイブシステムリンク（東京都中央区、萩原明会長）は9月10日、横浜市内の横浜カントリークラブで「第5回セイブシステムゴルフ大会・スペシャルオリンピックスチャリティ」を開催した。

当日のチャリティイベントでは、オークションなどで集まった浄財に、同社の寄付金を加えた266万6000円が、知的障害者のスポーツ活動を支援する認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」の名誉会長を務める細川護照元首相夫人の細川佳代子氏に、同社の萩原会長から直接手渡された。この寄付金贈呈は第1回大会から毎年行われ5年連続。累計1200万円以上が贈呈されている。

寄付金を受け取った細川名誉会長は、長野で行われた05年の世界大会に、イラン代表の渡航費が足りず不参加となる危機に

直面した時、萩原会長に相談したら二つ返事で支援を申し出てくれたというエピソードを披露し、「熱い思いで支援してもらっている」と感謝の言葉を述べた。

このイベントには、同社の知的障害者を支援する主旨に賛同する業界関係者をはじめ、芸能・スポーツ・文化人が毎年多数参加。今年も俳優の勝呂晋氏、元ボクシング世界チャンピオンの竹原慎二氏、JAZZトランペット奏者の日野皓正氏など、芸能・スポーツ・文化関係者27名を含む総勢115名が集まった。会は4時間半もの間続いたが、一人として中座することなく、司会進行役を務めた小野やすし氏の軽快なトークによって終始盛り上がりを見せていた。

また当日、来賓を代表してあいさつした金馬車社長で同友会代表理事の高濱正敏氏は、「業界は厳しく、自分の会社を守るだけで精一杯のなか、このような催しを続けていることに感激している」と熱っぽく語った。

最後に萩原会長は、「ここまで続けられたのも皆さんの支援のおかげ。このような会は、続けることに意義があると感じている」と述べ、今後もこのイベントを継続していく決意を示した。

チャリティーゴルフを通じて 知的障害者支援に多大な貢献

遊技機販売商社の大手・㈱セイブシステムリンク（本社東京都中央区、萩原明会長）は10日、神奈川県横浜市《横浜力ントリッククラブ》で第5回となるチャリティーゴルフ大会を開催した。

遊技機販社の大手・㈱セイブシステムリンクのチャリティーゴルフ大会&オークションは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと競技会の場を提供するNPO法人・スペシャルオリンピックス（有森俊子理事長）の支援を目的としたもので、毎年、多くの業界関係者、スポーツ・芸能関係者が参加する催しとして知られている。スペシャルオリンピックスの細川佳代子名譽会長（細川護熙元首相夫人）と親交の深い萩原明会長が、細川さんの献身的な活動に感銘を受け「スペシャルオリンピックスの活動を業

界関係者、芸能関係者を知って頂き、陰ながら支援し続けていきたい」（萩原明会長）との思いから会長自ら企画。今回の開催で5回目（5周年）を迎える。スペシャルオリンピックスへ共感するスポーツ・芸能関係者、業界関係者の輪も年々広がるなか、今年も28名の芸能・スポーツ・文化人を含めた15名がチャリティーゴルフ&オークションに参加した。

当日は曇りつない日本晴れの空のもと、8時30分より20組に分かれてスタート（競技はダブルペリア方式）。全競技終了後の午後4時よりチャリ

第5回大会に参加した芸能・スポーツ・文化人

（アイウエオ順）
浅茅陽子（女優）、石野陽子（タレント）、小野ヤスシ（俳優）、倉石 功（俳優）、黒田アーサー（俳優）、小柳ルミ子（歌手）、定岡正二（プロ野球解説者）、沢村 忠（元キックボクシング世界チャンピオン）、財津 一郎（俳優）、勝呂 誉（俳優）、角 盈 男（プロ野球解説者）、竹原慎二（元プロボクシング世界チャンピオン）、寺 泉 憲（俳優）、中條佳代子（タレント）、中野浩一（元競輪世界チャンピオン）、根本りつ子（女優）、野村将希（タレント）、畑山隆則（元プロボクシング世界チャンピオン）、日野皓正（ジャストランペット奏者）、左とん平（俳優）、藤巻 潤（俳優）、藤森夕子（タレント）、榎原真己（プロ野球解説者）、元木大介（プロ野球解説者）、矢部 芙蓉（タレント）、山本淳一（タレント）、渡辺裕之（俳優）、渡辺めぐみ（タレント）

ティオークションと表彰式が行われ、俳優の小野ヤスシさんの軽妙な司会のもとオークションがスタート。スポーツ・芸能関係者が次々と壇上に登場し、自身の愛用品などを出品した。特に日野皓正さんが提供した自身の刻印入りミニランペットは56万円で落札され、会場からは驚嘆の声が起るなど盛り上がりを見せた。

来賓祝辞では㈱金馬車の高瀬正敏代表取締役社長が「昨年4月の大手パチンコチェーンの破綻の際、セイブシステムさんは大変な被害を受けた。しかし1年でその負債を返したことに底力を感じると共に、このチャリティーゴルフ大会を継続開催していることに驚嘆させられる。お世話になつていてる方への感謝とともにスペシャルオリンピックスへの支援を続ける姿勢を強く感じる。業界は依然として厳しい状況だが、どんな状況でも社会貢献を継続して行う姿勢に感銘を受けるとともに、我々も努力し、素晴らしい業界にしていかなければならないと感じる次第」と挨拶した。㈱セイブシステムリンク・萩原明会長は「思えば細川先生との出会いからはじまったスペシャルオリンピックスの支援ですが、少しでも力になればと開催し、ここまで続けることができたのは皆様のご理解あつてのもの」と挨拶。5年間を振り返り特に尽力頂いた3氏（細川佳代子名譽会長、日野

皓正さん、小野ヤスシさん）に記念品を贈呈した。また表彰式の前にはチャリティーオークション、ニアピン募金で集められた海財とセイブシステムリンクからの寄付を合計した266万6千円が萩原会長からスペシャルオリンピックスの細川佳代子名譽会長に贈呈された。

細川名譽会長は「5年間、萩原会長には大変なご支援を頂いている。私達はパラリンピックとは異なり、知的障害者の方が参加するオリンピックの開催を行っているが、行政からの援助が無いなか、萩原会長の善意に感謝する次第」と謝辞を述べた。05年に開催された長野世界大会でイラン選手団が参加できなかったという緊急時に、萩原会長の迅速な支援により、無事参加することができたエピソードなどを披露した。

表彰式は会場内に歓声と悲鳴が入り交じる中進行。見事優勝に輝いたのは



見事優勝に輝いたのは前から右の辛島慶和代表取締役社長。49インチカラーテレビのほか、参加芸能人一同のサインが書かれたパネルなどが萩原会長から贈呈され「来年も参加できるように頑張ってください」と満面の笑みを見せた。



スペシャルオリンピックスの細川佳代子名譽会長に計266万6千円の寄付金を手渡す萩原会長。今回の寄付金額により、チャリティーによる寄付金の総額は5年間で計1200万円に達した。



前から右の辛島慶和代表取締役社長（アウトライト、イン38、グロス84、ハンデ12・0、ネット72・0）。進優勝は高日生氏（㈱中原商事代表取締役社長）、3位は竹原慎二さん（元プロボクシング世界チャンピオン）が入った。また、スポーツ・芸能関係者の部では勝呂 誉さん（俳優）が優勝、女子の部では石野陽子さん（タレント）が優勝を飾り、ベストクローは江本日本東氏（共和観光㈱代表取締役社長）が獲得。約3時間半に及んだパーティーの締めとして鶴田喜代

所存」と挨拶し、幕を閉じた。